

平成28年9月26日

個人情報が含まれたSDカードの紛失について

京都大学医学部附属病院
病院長 稲垣 暢也

本院の歯科口腔外科において、患者情報（患者氏名と写真）が含まれたSDカードが、本年9月6日（火）朝、紛失していることが判明しました。

本事案が発生したことに対し、患者さんをはじめ関係者の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 経緯

当該SDカードは、前日（9月5日）の18時頃、研修医Aが、処置室のパソコンの上にSDカードを置いて、近くにいた研修医Bに声をかけ、当該SDカードを受け渡した認識でありました（研修医Bは、声をかけられた記憶も受け取った記憶もないとのことです）。翌朝、研修医Bは、研修医AからSDカードを受け渡したことを聞いて紛失に気づき、行動範囲すべてを探索しましたが、発見できませんでした。

2. 紛失した個人情報の内容

当該SDカードには、歯科口腔外科の入院診療において、デジタルカメラで撮影した患者さんの写真が保存されておりました。内容は、患者氏名（ひらがな。一部の方は漢字）と写真です。写真の種類は、患者さんによって異なりますが、顔貌写真、口腔内写真、摘出したものの写真、術中写真です。当該SDカードにデータが残っている可能性があるのは、ほぼ確実な41名を含め、このSDカードが購入されてから紛失するまでの間に歯科口腔外科に入院されたことのある全患者138名です。なお、現時点においては、紛失した個人情報の転載や流用の事実は確認されておりません。

3. 該当する患者さんへの対応

当該SDカードに保存されていた可能性がある患者さん138名の方には、21日（水）から順次、謝罪を開始し24日（土）時点で電話並びに文書による説明と謝罪を終えています。

4. 再発防止に向けた今後の取り組みについて

再発防止に向けた取り組みとしては、電子カルテシステムに画像をアップロードする際には、無線LAN付きのSDカードを使用するよう周知徹底し、個人情報の取り扱いに関する研修会の受講を必修化します。

今回SDカードの所在が不明になったことにより、多くの患者さんにご迷惑とご心配をおかけする事態を招いたことを重く受け止め、今後、個人情報の取扱いに関する院内ルールの周知徹底を図り、個人情報の適切な管理に努めて参ります。

【問合せ先】

京都大学医学部附属病院
総務課 秘書・広報掛 TEL：075-751-4334